



仲間と共に生家を活用 針道地区を元気に！



古民家80保存会 事務局長
菅野 利雄さん（二本松市）

再生した生家を、人々が楽しく集い、
地域の魅力を発信していく活動の場に――。
今日も元気な地域づくりの夢を追う！

「古民家80」を復活させたみんなの力で 地域の魅力を奮い起こしたい

見事によみがえった
古民家



「古民家80は、もともと私の実家で、両親が他界した後は25年間、空き家になっていました」と話す菅野さん。針道地区の築200年となる養蚕農家だったが、傷みも激しいため取り壊すしかないと考えていた。しかし、日頃仕事で東北地区全域を回っているが、このような大きな梁のある家はもうほとんどない。先祖が作り上げてきた貴重な財産を自分の代で絶やしていいものか、どうにか残せないか…そんな思いが湧いてきた。

どうすればいいか? 「私がいくら頑張っても、一人では何もできません。周りに協力してくれる仲間がいたからできたんです」と振り返る菅野さん。復活に向けて保存会を立ち上げ、企業や個人に修復のための協賛を募った。幸い多くの人々の協力が得られ、一昨年の9月、多目的施設「古民家80」のオープンにこぎ着けた。思い立ってからそこまで半年

という急展開だった。その日、協力してくれた仲間内で開いた芋煮会で、今後の活用アイデアが次々と出た。そして1カ月後の10月、地元「針道のあばれ山車」の祭り当日、通りかかる見物客を団子汁でもてなした。かつて若連として祭りに参加していた菅野さんにとって、そのにぎわいは格別うれしいものだった。

古民家80の「80」とは、建物がある番地だ。古民家というだけだと、インターネット検索では全国津々浦々の古民家情報に埋もれてしまうが、「古民家80」ならストリートにこの情報に行きつく。名前にはそんな狙いもあった。

昨年の4月には「桜まつり」を開催した。運営メンバーのほとんどは、現在菅野さんが住んでいる西池地区の住民たち。針道地区の西方約15キロに位置する比較的新しい住宅地だが、平成元年から始めた西池夏祭りを今も継続している、結束力のある地区だ。桜まつりは、事前の準備や当日に

誘導・案内する男性、団子汁・玉こんにゃくを作って振る舞う女性など、地区のみんなの力を集結して実施した。民話やフラダンスショーなども盛り込み、各地から多くの人々が訪れた。もちろん今年も開催 大変盛況だった。

菅野さんはこういった活動の様子や、毎年組み立てる「あばれ山車」が出来上がるまでを記録した動画DVDなどを、古民家に置いて視聴できるようにしている。「あばれ山車」の情報を発信する場所が、二本松市にはどこにもない。ここがその役割を担えればとの思いがさらに募り、あばれ山車の飾り物である七福神の毘沙門天像を昨年からは土間に展示している。「やはりDVDの映像と併せて実物があると、迫力が違いますね」と、さらなる活用に目を輝かせている。



古民家で最初に催した芋煮会に参加した西池町内会の皆さん



古民家80保存会 事務局長
菅野 利雄さん (二本松市)



昔話やフラダンス
ショーなど、多彩な
催しで訪れた人々を
楽しませている

太い梁と板
戸が歴史を
感じさせる



菅野さんの今の夢は、古民家近くの広い土地に「羊の牧場兼ドッグラン」を造ること。現状は草が茂り放題で何も無い遊休地だ。ここを平地にして草を食べる動物を飼おうか、と考えていた頃に、羊に関する地域の情報が耳に入ってきた。かつて旧東和町は綿羊の生産量が日本一だったという。「ふれあい牧場のようにするのなら、性格のおとなしい羊を飼うのがいい。そして週末は羊を小屋に入れて牧場をドッグランにすれば、近隣に同様の施設がない愛犬家にも喜んでもらえる」。「夢」と言っているものの、菅野さん

Q 福島に生まれて良かったと思うところは？

一緒に地域を盛り上げようと頑張ってくれる地元の仲間がいることですね。昔からの祭りも近年できた祭りも、みんなで盛り上げようと、一人一人ができることを考えて実行してくれている。やっぱりそういう仲間が何よりも宝だと思います。

Q どんな福島になってほしい？

地域の過疎化がどんどん進んでいて、これからは住民よりもイノシシが多いんじゃないか、という地域が生まれかねません。みんなの知恵で何とか地域を活性化して、若者も集う古里づくりを進めたいですね。



菅野 利雄 (すがの としお) さん

昭和25年2月、福島県二本松市(旧東和町)に生まれる。住宅設備メーカーに勤めた後、平成5年に現住所にて独立。平成27年、実家の古民家を「古民家80」として再生。住宅設備の仕事がその復活に大いに役立った。西池地区の情報誌を自ら作り、全戸配布するなど、地域のために幅広く活動している。

は既に図面を作り、市の担当課に問い合わせ、地権者との話も進めている。「夢は大きく。そして行動しなければ実現しません」。そう語る菅野さんには、過疎化が進む古民家の地区を、地域振興の働きかけで何とか盛り上げていきたい、という思いがある。「百年後もこの古民家が利活用され、大いににぎわうために、道の駅東和なども連携を深め、互いの施設にイベントのポスターを貼ったり、映像を流したりするなど、協力し合って盛り上げていき



土間のあばれ山車を説明するボランティアガイド。多くの保存会員の協力で活動が成り立っている

たい」。そう語る菅野さんはこれからも、仲間と共に夢を追って精力的に活動してい



古民家80 2周年記念イベント開催 9月17日(日)午前11時～
民話、フラダンスショー、カラオケ大会、ビンゴゲーム など